愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	松田 凌	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習I･IIを通じて、各学生が興味を持って研究できるテーマを見出し、卒業論文の作成について学習することを目的とする。 研究テーマの内容は、人間のこころや行動について考える。例えば、教育現場の問題（いじめ、不登校、非行、暴力、発達障害等）、心の病の問題（うつ、自殺等）、社会の問題（ジェンダー、DV等）、自己の問題（自信のなさ、自己尊重感、自己概念等）、これらの領域を中心とする。研究テーマを探す方法としては図書館での本や論文の検索、インターネットでの検索等を行い、資料の取り寄せが行えるようになる。 なお、心理コースの全体講義はリモート授業（リアルタイム）で実施し、各担当教員による個別演習は対面での指導とリモート授業（リアルタイム）を使い分けて実施する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義と演習形式で授業を行う。専門演習Iでは文献研究を主体とした個人ワーク（場合によってはグループワーク）による研究を行う。心理コース合同による全体講義を挟みつつ，研究テーマや精読する論文を個人で決定し，刊行されている論文の要約をパワーポイントでまとめ発表する。また本発表は心理コース内での合同発表会にて行われる予定である。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス　専門演習Ⅰの進め方	専門演習Ⅰの授業の概要、事前事後学習、受講の注意	□
第2回	全体講義Ⅰ　テーマの決定、構想を考える、先行研究を探す	１．論文とは　２．文献研究の論文の書き方	□
第3回	個別演習Ⅰ（１）テーマを決定し構想を考える	「何が問題なのか」「なぜ問題なのか」を考える	□
第4回	個別演習Ⅰ（２）背景説明	１．事物の説明、２．先行研究の紹介	□
第5回	個別演習Ⅰ（３）問題提示	１．問題点を指摘する　２．疑問を示す先行研究を明らかにする	□
第6回	個別演習Ⅰ（４）方向づけ	１．論文の目的を示す　２．問題提起で示された問題の解決方法が分かるようにする	□
第7回	全体講義Ⅱ　本論の概略	本論の流れについて議論する	□
第8回	個別演習Ⅱ（１）論拠を示す論文等を探す	図書館やインターネットを使って論拠を示す資料を探す	□
第9回	個別演習Ⅱ（２）論拠の提示	資料とデータを書き分ける	□
第10回	個別演習Ⅱ（３）意見の作成	先行研究と意見を使って、論拠を示す	□
第11回	個別演習Ⅱ（４）結果の証明	論拠と意見を使ってなぜそのような結論になるのかを証明する	□
第12回	全体講義Ⅲ　発表の仕方	全体のまとめ方と分かりやすいプレゼンテーション	□
第13回	個別演習Ⅲ（１）グループで発表をまとめる	グループでの発表資料の作成	□
第14回	個別演習Ⅲ（２）個別演習内での発表	各担当教員による個別演習内で発表する	□
第15回	全体講義Ⅳ　心理コースでの発表会	１．各グループが発表する　２．全体で振り返りを行う	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

心理や生活、社会について関心のあるテーマを調べておく。次の授業に向けて必要な論文・資料の収集、読み込み、整理などをしてくること。（2時間） 事後学習として、授業内で提示された内容や収集した論文・資料の振り返りと研究発表資料の作成に向けた準備をすること。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回、講義後に進捗状況の報告が課され、次回の授業の冒頭で講評する。研究発表の資料作成について適宜指導・助言を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	心理学研究を基盤として、問題意識を持ったテーマの設定、資料収集、発表資料の作成、研究発表ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習内の取り組みと成果物（発表，レポート）を総合的に評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		